



郡山市セーフコミュニティ再認証に係る事前指導を実施します



ターゲット 17.17

令和3年11月9日

郡山市市民部

セーフコミュニティ課

担当：渡部 洋之

TEL：924-2151

SDGs ターゲット 17.17 「官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

来年度の再認証に向け、これまでの取組を海外審査員に報告し、助言を頂く事前指導を下記により実施します。今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンラインによる開催となります。

- 1 日 時 令和3年11月15日(月)から11月17日(水)まで
※ 詳細は別紙「事前指導タイムテーブル」のとおり
- 2 会 場 郡山市役所西庁舎3階 多目的ホール1～3
※ 「Zoom ウェビナー」によるオンライン開催となります。
- 3 内 容 6分野の対策委員会のプレゼンテーション及びディスカッション
外傷サーベイランス委員会のディスカッション
審査員講評 等
- 4 審 査 員 別紙「審査員プロフィール」のとおり
- 5 資 料 等 市ホームページに掲載しております。

<http://www.city.koriyama.lg.jp/soshikinogoannai/shiminbu/safecommunityka/gomu/1/1/30312.html>



<セーフコミュニティ事前指導>

セーフコミュニティの認証制度は、5年毎に再認証の審査を受けることが義務付けられていますが、郡山市は、平成30年2月に国際認証を取得していることから、来年度、再認証のための現地審査が行われる予定です。

今年度は、これまでの取り組みを海外審査員に報告し、来年度の現地審査に向けての助言や指導を受ける事前指導を実施するものです。

郡山市セーフコミュニティ事前指導等タイムテーブル

※会場 郡山市役所西庁舎3階 多目的ホール1～3（福島県郡山市朝日一丁目23番7号）

11月	15日(月)	16日(火)	17日(水)
9:00			
10:00			
11:00	11:00～11:20 開会・市長挨拶 11:20～12:00 全体説明 (ディスカッション)	11:00～12:00 交通安全対策委員会	
12:00	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩
13:00	13:00～14:00 こどもの安全対策委員会	13:00～14:00 外傷サーベイランス委員会	13:00～14:00 防災・環境安全対策委員会
14:00	14:00～14:10 休憩 14:10～15:10 自殺予防対策委員会	14:00～14:10 休憩 14:10～15:10 防犯対策委員会	14:00～14:10 休憩 14:10～15:10 審査員ミーティング
15:00	15:10～15:20 休憩 15:20～16:20 高齢者の安全対策委員会		15:10～16:10 審査員講評 (市長挨拶含む)
16:00			閉会 16:10

郡山市セーフコミュニティ事前指導（2021.11.15～17） 審査員プロフィール

◆パイ・ル/Pai Lu(白 珏路)◆

- 台湾事故傷害・安全促進学会 学会長
- 台湾社區安全推進センター センター長
（セーフコミュニティ支援センター及びセーフスクール支援・認証センター）
- 国際セーフコミュニティネットワーク 理事
- アジア地域セーフコミュニティ支援センター連合 理事長



ジョンズホプキンス大学(アメリカ)等で博士課程及びポスドク(研究員)として教育を受けた後、台湾医科大学及び国防医学院(いずれも台湾)において生物統計学及びセーフティプロモーションを指導してきた。退職した現在も、同大学において指導している。

SCに関しては、台湾における傷害予防及び安全向上の分野における先駆者であり、2002年にセーフコミュニティを台湾に導入して以来、SC支援センターである「台湾社區安全推進センター(TCSPC)」のセンター長として、これまで30を超えるコミュニティの指導をされ、20以上のコミュニティを認証に導かれ、「台湾のセーフコミュニティの母」として慕われている。

また、アジア地域セーフコミュニティネットワークの副理事長、アジア地域SC支援センター連合の理事長を務め、台湾だけでなくアジア地域のSC推進に大きく貢献している。

日本においても、これまで多くの自治体のSC及びISSの審査及び指導に関わっている。郡山市の前回の現地審査において審査を務められた。

◆ミーガン・ブラザートン(Meegan Brotherton)◆

- オーストラリアセーフコミュニティ財団 プログラムマネジャー

所属する「オーストラリアSC財団」の2004年の設立及び翌年の「支援センター」認証において重要な役割を担う。さらに、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、アメリカのSC支援センター及び認証自治体からなる「環太平洋SCネットワーク」の設立とNPO団体としての登録、WHOとの公式な関係の構築にご尽力されている。



SCに関する制度づくりに大きく貢献する一方で、ニュージーランドやアメリカ、カナダの書類審査を担当するとともに、オーストラリアや中華人民共和国の現地審査の認証審査チームの一員としての役割を経験されている。

自国での労働衛生安全分野の経験を生かし、若者が社会で働く前に安全について自分のペースで学び、その習熟度を確認できる、「安全へのパスポート(オーストラリア版)」のプログラムの開発と運営にも携わっている。

日本においては、2015年以來、セーフコミュニティの事前指導などにおいてアドバイスをくださっている。郡山市においても前回の事前指導でご助言・アドバイスをいただいた。

◆グレン バーバー (Graeme Barber)

- ウーデンド小学校 元校長
- セーフスクール認証審査員
- 環太平洋セーフコミュニティネットワーク アドバイザー



バーバー氏は、学校教員、ワナウ（マオリ語の“家族”）、学習者指導者、そしてスタッフとして教育の分野において40年以上の経験を積み重ねられ、そのなかで児童・教職員・地域住民の協働による学校の在り方を研究している。

教育者として35年間のなかで、学校と地域と一緒に学校を作り上げる方法としてインターナショナルセーフスクール活動に取組み、2005年8月11日にご自身が好調を15年務められたウーデンド小学校においてインターナショナルセーフスクールの認証を受けた。その経験をもとに積極的にセーフスクール活動を推進している。

現役中からニュージーランド国内や国際的な外傷予防及びセーフコミュニティ会議、認証審査や認証式に度々招待されており、セーフスクールの視点から安全なまちづくり、安全な学校づくりに貢献している。さらに、カンタベリー小学校長会及びニュージーランド校長連合会のメンバーに選出された経験もあり、現在はサポートメンバーを務めている。日本においても、これまでインターナショナルセーフスクールの認証審査及びご指導をいただいた。

セーフコミュニティについては、ニュージーランド国内において、セーフコミュニティ支援センターであるニュージーランドセーフコミュニティ財団と連携して、セーフコミュニティのご支援も積極的にされている。